NGU 教養スタンダード

NGU 教養スタンダード

本学のカリキュラムの特色のひとつとして、どの学部の学生でも学べる≪NGU 教養スタンダード科目≫を開設しています。≪NGU 教養スタンダード科目≫は、現代社会で生きていくために必要な知識と技術をしっかり身につけ、専門知識だけに偏らない豊かな人間性を育てるために、次のような 3 つの目標を掲げて、カリキュラムを編成しています。

- キリスト教主義にもとづいた豊かな人格の形成
- 社会生活に必要な知識や技術の修得
- 成熟した市民として必要な教養の養成

NGU 教養スタンダード科目の構成

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説 1」「キリスト教概説 2」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1 年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2 年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～2b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

情報に関する科目

高度情報化社会の要請に応えるため、数理・データサイエンス・AI 教育の充実は、本学の情報教育の特色です。1 年次の「情報処理リテラシー（必修科目）」では、全学生に配付したノートパソコンを使って情報処理の基礎知識と基本スキルを学修します。また、「データサイエンスリテラシー」「データサイエンス概論」「AI 概論」「情報処理論」などでは、数理・データサイエンス・AI の基礎知識と様々な応用法、並びに近年のデータサイエンス分野の動向などを学修します。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」を必修として学ぶほか、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」を学ぶことができます（学部によっては履修できない外国語もあります）。また、「日本語表現」を必修として学び、日本語表現法関連科目を学修することができます。

社会的教養に関する科目

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには、一般教養の修得が欠かせません。本学では、＜歴史・文化＞、＜社会＞、＜自然・人間・生命＞、＜地域＞の 4 区分の学修を通じて、適切な教養の修得を目指します。

教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

大学 COC 事業に関する 4 年間の学修

文部科学省は「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を通じて、全学的に地域と連携した教育・研究・社会貢献に取り組む大学を支援しています。2013 年 8 月、名古屋学院大学は同事業に採択され、学生のみなさんが地域のことに興味関心を抱き、学修意欲を高められるカリキュラムを充実させました。これにより、企業が必要とする「社会人基礎力」が高まり、4 年後の就職にも有利となることをめざしています。

※　COC は「Center of Community」の略で、「地域再生の核となる大学」という意味です。

学生のみなさんは、下図に示すカリキュラムにより、行政や地域（住民・企業・団体）とも連携・協力しながら学修を進めていきます。これらの授業においては、教室内での学修はもちろんですが、学外でのイベントやフィールドワークに参加する場合もあります

COC に関するカリキュラムの流れ

カリキュラム	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
① 教育イベント「まちづくり提言コンペ」	→			
② 課題解決型授業（PBL）	→	→	→	→
③ 地域志向型科目（各学部専門科目）	→	→	→	→
④ 教育イベント「地域フォーラム」			→	→

① 全学生が参加する **1 年生の教育イベント**として、「基礎セミナー」において、名古屋市熱田区または瀬戸市にかかわる**「まちづくり提言コンペ」**を実施します。

② **課題解決型学習（PBL）**として、全学共通の≪NGU 教養スタンダード科目≫において、地域商業・減災福祉に関する「まちづくり学」「まちづくり演習」を開講するとともに、希望者は「上級まちづくり演習」（減災福祉のみ）で継続受講することも可能です。

③ 各学部の専門科目において、地域を学修対象とした**地域志向型科目**を開講しています。

④ 全学生が参加する **3・4 年の教育イベント**として、「演習」での課題研究の成果などを地域の方向けに発表する**「地域フォーラム」**を実施します。専門科目としての演習科目やゼミなどで学修・研究した成果を広く地域へ発信します。

初級まちづくりマイスター

まちづくり分野（地域商業・減災福祉）で開講している「まちづくり学」「まちづくり演習」科目の両方を履修し単位修得した学生に対し、「初級まちづくりマイスター」を認定します。

上級まちづくりマイスター

初級まちづくりマイスターを認定された者のうち、「上級まちづくり演習」を履修し単位修得すること、かつ公的な社会的活動に従事したり公的資格の取得をした学生を対象に、「上級まちづくりマイスター」を認定します。

商学部　商学科

教育目標（学則第 3 条の 2 より）

商学部は、幅広い教養と商学、経営、情報、会計に関する基礎ならびに専門知識を身に付け、変動やまない国際社会、情報社会のなかで、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

商学部に所属する学生は、学部および学科のカリキュラムを履修、学修し、研究することをとおして、以下の能力獲得が求められる。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たし、商学部における学修と研究の成果としてふさわしい卒業研究論文（以下、「卒業論文」という）を作成し、受理された学生には学士（商学）の学位が授与される。

知識・技能

1）建学の精神に基づく教育を基礎としたカリキュラムの履修により、広い視野および豊かな倫理観と教養を持って行動することができる。

2）流通・マーケティング、経営・ファイナンス、簿記・会計、スポーツマネジメントなど、商学における高度な学術理論およびその実践について学修し、企業や消費者および市場が直面する諸問題の本質を正しく理解することができる。

3）修得した知識や技能を活用して、実際のビジネスや企業経営ならびにスポーツマネジメントに関する諸問題に対する解決策を探求する能力を身につけることができる。

思考力・判断力・表現力

1）実際のビジネスや企業経営ならびにスポーツマネジメントについて、自ら課題を見つけて解決していくために必要な思考力・判断力・行動力を身につけることができる。

2）自己の課題解決に対する取り組みおよびその成果を論理的に他者に説明することができる。

主体性・多様性・協働性

1）産業や市場および企業の持続的成長が社会経済の健全な発展に大きく影響を与えることを自覚して、流通・マーケティング、経営・ファイナンス、簿記・会計、スポーツマネジメントに関する多様な理論・実践を学修し、それらを組み合わせて多角的視点から問題を分析し解決する能力を身につけることができる。

2）他者の意見を尊重しつつ主体性を持って、地域との協働のもと、問題解決に取り組むことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

商学部における専門教育の展開については、1 年次に商学部教育の基盤となる必修科目を履修し、2 年次より基礎から応用までの科目を段階的かつ体系的に履修する。さらに高度専門プログラムにおいて企業経営の実践的知識を学修する科目を配置し、学生は自己の学修上の関心および卒業後の進路に応じて必要な科目を選択して履修する。

このような専門教育を含めて、ディプロマ・ポリシーで掲げた目標を達成するために、次のような教育内容、教育方法、学修成果の評価の方針に基づき、カリキュラムの編成と授業の実施をする。

教育内容

1）カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する≪NGU 教養スタンダード科目≫、商学部における基礎的な知識・技能を修得する≪学科基礎科目≫、商学部の専門性を深める≪学科専門科目≫、さらなるスキルアップを目指す≪学科関連科目≫から学ぶ。

2）≪学科基礎科目≫においては、商学部の専門教育の基盤を身につけるために「商業概論」「マーケティング概論」「経営学総論 1・2」「ファイナンス基礎論」「簿記入門」「会計学入門」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を必修科目として履修する。

3）≪学科専門科目≫においては、個々の進路や興味に沿って各分野の学びを深められるよう、《流通・マーケティング》、《経営・ファイナンス》、《簿記・会計》、《スポーツマネジメント》の専門・発展科目を配置している。そして、少人数教育の場となる≪ゼミナール≫では、まず 1 年次に、研究の基礎的な知識・技能を修得する「アカデミックリテラシー」、「専門演習」の導入科目となる「専門演習入門」を履修し、2 年次から開始する「専門演習」にて希望する分野のゼミに所属して研究活動をおこない、その成果として卒業論文を作成する。

4）≪学科関連科目≫においては、商学部生として必要なスキル・資格の取得や語学力向上を支援する科目を履修することができる。また、各種講座の履修をとおして、自らのキャリアへの意識を高めたり、実践的知識を身につけたりすることができる。

教育方法

1）それぞれの授業においてあらかじめ示された教育目標を達成させるとともに、個々の学生の学習進度に即して適切な課題を与えることで、主体的な学習を支援する。

2）講義科目においては、小テストやレポートを通して受講生の学習状況や理解度の把握に努める。演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表をおこなう。

3）経営実践に関する知識の獲得およびその定着を促進するために、実社会を見聞する機会を設ける。

4）社会で活躍するために必要な商学、企業経営、会計に関する実践的知識および資格を修得するための少人数講義を設ける。

学修成果の評価

1）各科目の評価は、原則として平常点および期末試験などによる総合評価によりおこなわれる。

2）各科目について、その内容、到達目標、成績の評価方法と基準をシラバスなどで公開して学生に周知した上で、厳格な成績評価をおこなう。

3）専門演習の各年度末において、当該年度の「研究活動報告書」を作成し、担当教員は各ゼミ生の活動状況とあわせて成績評価をおこなう。また、卒業年次においては、卒業論文を研究活動の成果として評価し単位認定をおこなう。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

求める学生像

商学科では、将来、ビジネスの現場で活躍し、社会経済の健全な発展に寄与することを希求する者、具体的な下記の要件を備えた者を入学者として受け入れの対象とする。

1）建学の精神に沿う豊かな人間性と誠実さをもち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志があること

2）現実の経済および企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、国際的視野に富み、進んで真理を探究する意欲と能力があること

3）問題解決能力を身につけさせる本学部教育方針のもとで、学習に必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備えていること

4）本学部で修得した専門的知識および実践的問題解決能力を、国際社会および地域社会の将来に役立てようという強い意志をもつこと

入学時までに身につけるべき知識、能力など

・社会関連科目を履修し、経済および企業経営に関する基礎知識を習得していることが望まれる。

・情報関連科目を履修し、ICT の経済・経営への影響を理解していることが望まれる。

・国語などの学習によって、筋道の立った文章が書けることが望まれる。

入学者選抜

商学科は、大学入学時までに培われた確かな基礎学力、商学科への適性、多様な学習や活動を通じて身につけた能力や意欲などを、多面的・総合的に評価することを入学者選抜の基本的な方針としている。

カリキュラムの概要

商学部の特色

商学部は、幅広い教養と流通・マーケティング、経営・ファイナンス、簿記・会計、スポーツマネジメントに関する基礎ならびに専門知識を身につけ、変動やまない国際社会、情報社会の中で、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とします。これらの商学、経営学および会計学の各分野の諸理論を学修するとともに、地域経済、市場ならびに企業経営における実際の諸問題を解決できる能力を身につけることを目指します。

商学部の科目

商学部のカリキュラムは、≪NGU 教養スタンダード科目≫と≪専門科目≫に大別され、さらに≪専門科目≫は≪学科基礎科目≫≪学科専門科目≫≪学科関連科目≫という 3 つの科目区分によって構成されます。

専門科目

① ≪学科基礎科目≫は、「商業概論」「マーケティング概論」「経営学総論 1・2」「ファイナンス基礎論」「簿記入門」「会計学入門」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を配置しています。いずれも必修科目として、商学を理解する上で必要な基礎的知識や理論を学修します。

② ≪学科専門科目≫は、≪流通・マーケティング≫≪経営・ファイナンス≫≪簿記・会計≫≪スポーツマネジメント≫≪ゼミナール≫の分野に分かれます。各自の進路、関心に応じて各分野の専門的な内容を学修します。

③ ≪学科関連科目≫は、≪キャリア・資格支援≫≪語学・海外留学≫の分野に分かれます。

カリキュラム上の特色

履修コース

商学部は、商学全般を段階的、効果的かつ効率的に学修できるよう科目配置をおこなっています。

そのため、科目によってはシラバスで前提科目の履修を求められている場合がありますので、注意が必要です。

なかでも、系統的に学修を進めなければ、効果的な成果を得られないと判断される科目について、履修の順序が規定されています。下表に示す科目は A の科目→B の科目の順に履修し、それぞれの単位を修得しなければ次の科目の履修ができません。

履修順序指定科目

A		B	
授業科目	配当年次	授業科目	配当年次
簿記入門 会計学入門	1	簿記初級・中級	2
		簿記上級	3
		工業簿記 1・2	2
		簿記論初級・中級	2
		簿記論上級	3
		財務諸表論初級・中級	2
		財務諸表論上級	3

資格単位認定

学生が主体的に学ぶ意欲を評価することを目的として、「能力開発 1～3」を配置しています。また、より高い目標へ挑戦する学生をサポートすることを目的として、特定の授業科目の単位認定制度を設けています。学部が指定する資格を取得し、定められた基準をクリアした場合に、本人の申請にもとづき、所定の単位が認定（R 評価）されます。なお、資格センターでは学生の便宜をはかるために、各種資格講座を学内で開設しています。

1．対象となる資格など

表 1（「能力開発 1～3」を認定）、各 2 単位、項番 1・15 は最大 4 単位

項番	認定する資格・検定名	認定基準
1	TOEIC Listening ＆ Reading （IP も含む）	470 点以上 600 点以上
2	ビジネス能力検定試験（B 検） ジョブパス	2 級以上
3	秘書技能検定試験	2 級以上
4	サービス接遇検定	準 1 級以上
5	IT パスポート試験	資格取得
6	基本情報技術者試験	資格取得
7	旅行業務取扱管理者試験 （「国内」または「総合」）	資格取得
8	通関士試験	資格取得
9	宅地建物取引士資格試験	資格取得
10	行政書士試験	資格取得

項番	認定する資格・検定名	認定基準
11	色彩検定	2 級以上
12	カラーコーディネーター検定試験	アドバンスクラス
13	一種証券外務員資格	資格取得
14	二種証券外務員資格	資格取得
15	経営学検定試験 （マネジメント検定）	初級 中級以上
16	日本語検定	2 級以上
17	ファイナンシャル・ プランニング技能検定	3 級以上
18	診療報酬請求事務能力認定試験	資格取得
19	貿易実務検定	C 級以上
20	MOS　Associate*	資格取得
21	MOS　Expert*	資格取得
22	情報セキュリティマネジメント試験	資格取得

*20「MOS Associate」および 21「MOS Expert」の取得要件については、MOS 公式サイトを確認してください。

表 2（特定の授業科目を単位認定）

認定する資格・検定名	認定基準	認定される授業科目	認定される最大単位数
リテールマーケティング（販売士）検定試験	3 級	商業経営講座基礎 1・2	2 単位
	2 級	商業経営講座基礎 1・2	4 単位
	1 級	商業経営講座上級 1・2	8 単位
日本商工会議所簿記検定試験	2 級	簿記初級・中級	4 単位
	1 級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国経理教育協会簿記能力検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
	上級	簿記初級・中級・上級 工業簿記 1・2	10 単位
全国商業高等学校簿記実務検定試験	1 級(全科目)	簿記初級・中級	4 単位
税理士試験　簿記論	資格取得	簿記論初級・中級・上級	12 単位
税理士試験　財務諸表論	資格取得	財務諸表論初級・中級・上級	

2. 申請期間

春学期は 6 月、秋学期は 12 月の開講日に申請。申請月以前 3 年以内に取得したものに限ります。

表 1 について、入学前に取得したものは申請を許可しません。

表 2 について、入学日から 3 年前までに取得した資格のみ、入学年度に限り申請を受けつけます。

3. 申請期間の特例

最終学年の学生の内、卒業判定の結果、卒業要件を満たさず、資格の単位認定により卒業資格を得られる場合に限り、「2.申請期間」以外に教務課より CCS にて周知される特定の期間において追加申請を受けつけます。

4. 認定

学部において承認された場合、単位を認定します。申請時の年次が科目配当年次に達していない場合でも、配当年次に関係なく単位認定をおこないます。

5. 成績標語など

単位認定の成績標語は「R」（認定）とします。認定された科目は GPA 算出の対象外となります。

6. 補足事項

認定単位数は、履修制限単位数には含みません。

表 1 について、各種資格の申請は各 1 回とします。

表 1 項番 1 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能であり、両基準合計で最大 4 単位の認定となります。

表 1 項番 14 について、認定基準ごとに 1 回ずつ申請が可能です。

表 2 について、教職課程加入者（希望者）は、教員免許申請に「認定」科目を含められないため、教員免許要件上選択科目である「簿記初級・中級」は認定しません。

その他詳細は教務課までお問い合わせください。

演習科目

「基礎セミナー」

1 年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学修方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法など（アカデミック・スキル）を身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1)　専門演習とは

「専門演習（以下、ゼミ）」は、2・3・4 年次の 3 年間をとおして受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開する必修科目です。ゼミは少人数クラスでおこない、商学に関連する専門的なテーマについて深く研究します。例えば、PBL（課題解決型学修）に基づき、フィールドワークや学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。さらに、研究活動の成果として、卒業研究論文（以下、卒業論文）の執筆が求められます。

商学部教員による多種多様なゼミナールが配置され、全員が必ずいずれかひとつのゼミに加入します。詳細は、1 年次秋学期に開講される「専門演習入門」で開かれるガイダンスなどで指示・連絡します。

2)　専門演習の履修にあたって

1. ゼミ選択　：専門演習は各々の学生が商学部で学ぶうえで自らの専門性を形成する体系的な科目であり、履修には主体的で積極的な研究態度が要請されます。自己の研究課題や将来の進路を考え、各ゼミのテーマのなかから自分の目的や目標の達成に有意義と思われるゼミを志望してください。
2. 資格　：「専門演習（2 年）」から「専門演習（3 年）」への履修継続の際、２年次終了時点で総修得単位数が 40 単位に満たない、あるいは「専門演習（2 年）」の単位が認定されない場合は「専門演習（3 年）」を履修できません。
3. 卒業論文　：「専門演習（4 年）」では、自ら研究課題を設定しゼミの担当教員の指導のもと論文（卒業論文）を作成します。この論文を担当教員に提出し受理されることで「専門演習（4 年）」の単位が一括認定されます。

履修モデル

商学部

学科基礎科目

本学部での学修基盤となる科目が設置されています。

「商業概論」「マーケティング概論」「経営学総論 1・2」「ファイナンス基礎論」「簿記入門」「会計学入門」および「ミクロ経済学」「マクロ経済学」は 1 年次に履修します。これらは必修科目となるので単位認定が卒業要件となります。

学科専門科目

本学部の専門科目は 4 つの分野≪流通・マーケティング≫、≪経営・ファイナンス≫、≪簿記・会計≫、≪スポーツマネジメント≫、そして「専門演習」を含む≪ゼミナール≫に区分されています。

それぞれの分野区分においては、理論と実践的技能を身につける科目を配置していますので、各自の学修プランおよび進路に応じて履修科目を選択してください。履修のヒントとしては、所属ゼミの担当教員の専門分野の科目を軸として選択し、さらに自己の研究課題や学修の興味、あるいは将来の進路に関係すると思われる他分野の科目を計画的に履修することが重要となります。

《ゼミナール》に区分される「アカデミックリテラシー」では、大学での研究活動に必要な知識や技術などを学修することができるので、積極的に履修してください。

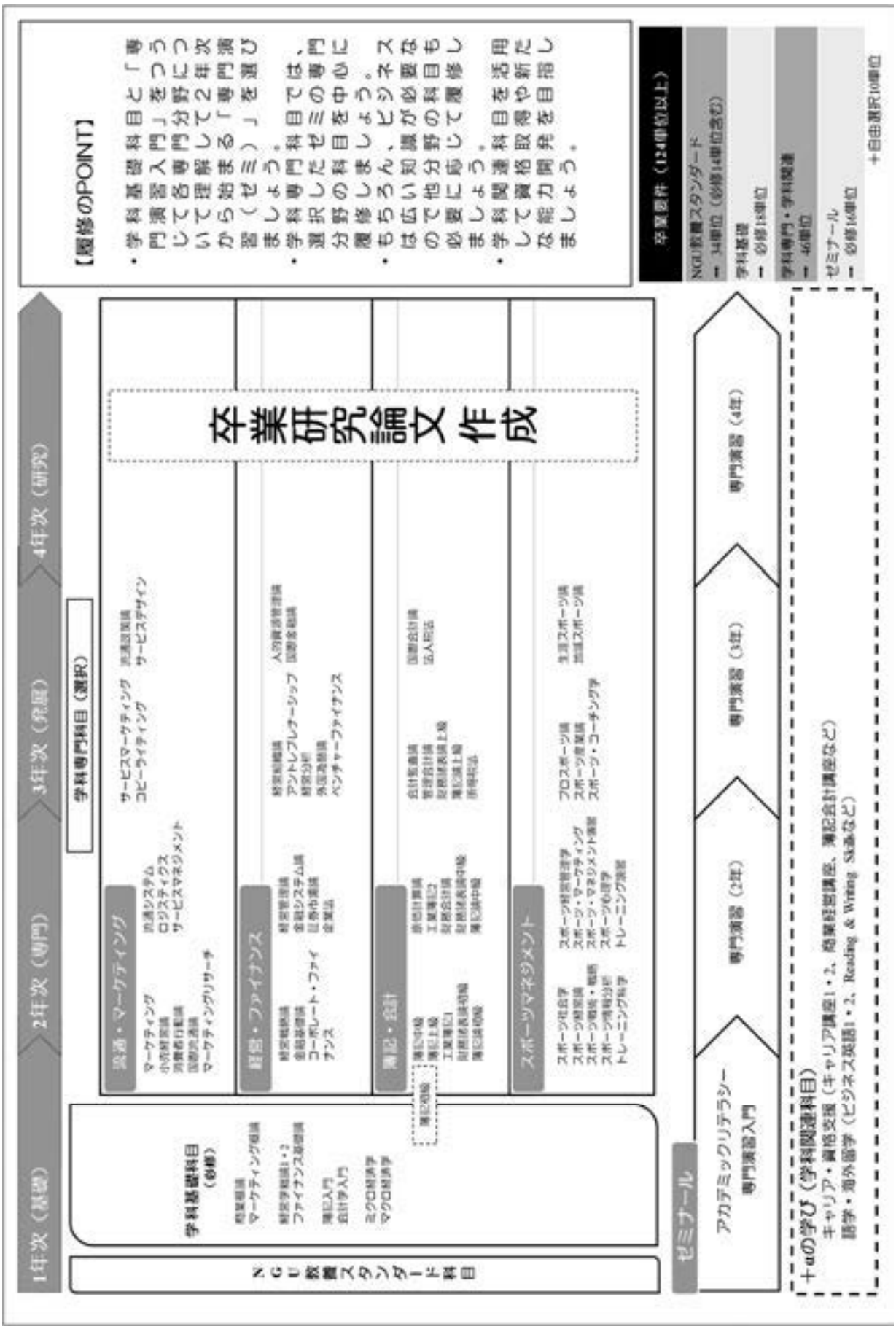
学科関連科目

本学部生の将来の進路や国際的視野を身につけることをサポートするための科目が設置されています。

≪キャリア・資格支援≫に区分される科目は、商学部生の進路にとって必要あるいは有益となる資格取得やキャリアデザインをサポートします。

≪語学・海外留学≫に区分される科目は、現代の国際社会において必須となる語学力の向上ならびに海外留学をサポートします。

いずれも卒業後の進路に大きく関わる科目となりますので、自己のキャリアを見据えて計画的かつ積極的に履修してください。



卒業要件

卒業要件単位数

商学部の授業科目表（次頁以降参照）にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。それぞれの単位数には必修科目を含みます。区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかり立ててください。

NGU教養 スタンダード 科目	キリスト教	34単位以上 （必修14単位を含む）
	自己理解と自己開発	
	数理・データサイエンス・AI教育	
	言語とコミュニケーション	
	歴史・文化の理解	
	社会の理解	
	自然・人間・生命の理解	
	地域の理解	
	教職　※1	
学科基礎科目		必修18単位以上
学科専門科目・ 学科関連科目		62単位以上 （必修16単位を含む）
自由選択科目　※2		10単位以上
合計		124単位以上

[注記]

※1　教職課程加入者のみ履修可。8単位までNGU教養スタンダード科目の卒業要件単位とすることができる。（8単位を超える分については、自由選択科目の単位とする。）

※2　〔フリーゾーン〕科目区分を問わず、自由に選択できる。

商学科　NGU教養スタンダード科目

授業科目名	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
キリスト教				
キリスト教概説1	2		1	AC1101
キリスト教概説2	2		1	AC1102
聖書学		2	2	AC2301
キリスト教倫理		2	2	AC2302
キリスト教史		2	1	AC1301
自己理解と自己開発				
基礎セミナー	2		1	AU1101
発展セミナー		2	1	AU1301
キャリアデザイン1a		2	1	AU1302
キャリアデザイン1b		2	1	AU1303
キャリアデザイン2a		2	2	AU2301
キャリアデザイン2b		2	2	AU2302
ボランティア学		2	1	AU1304
ボランティア演習		2	1	AU1305
インターンシップ1		2	1	AU1306
インターンシップ2		2	1	AU1307
数理・データサイエンス・AI教育				
情報処理リテラシー	2		1	AI1101
データサイエンスリテラシー		2	1	AI1301
データサイエンス概論		2	2	AI2301
AI概論		2	2	AI2302
情報処理論		2	2	AI2303
言語とコミュニケーション				
日本語表現	2		1	AV1101
実用日本語表現法		2	1	AV1301
アカデミック日本語表現法		2	2	AV2301
基礎英語1	1		1	AV1102
基礎英語2	1		1	AV1103
英会話1	1		1	AV1104
英会話2	1		1	AV1105
実用英語1		1	2	AV2302
実用英語2		1	2	AV2303
情報英語1		1	2	AV2304
情報英語2		1	2	AV2305
TOEIC英語1		1	2	AV2306
TOEIC英語2		1	2	AV2307
ドイツ語1		1	2	AV2308
ドイツ語2		1	2	AV2309
フランス語1		1	2	AV2310
フランス語2		1	2	AV2311
スペイン語1		1	2	AV2312
スペイン語2		1	2	AV2313
中国語1		1	2	AV2314
中国語2		1	2	AV2315
韓国語1		1	2	AV2316
韓国語2		1	2	AV2317
歴史・文化の理解				
【教養】日本史		2	1	AW1301
【教養】世界史		2	1	AW1302
【教養】日本文学		2	1	AW1303
【教養】外国文化論		2	1	AW1304
【教養】文化人類学		2	1	AW1305
【教養】陶芸論		2	1	AW1306
【教養】陶芸演習		2	1	AW1307

授業科目名	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
社会の理解				
【教養】政治学		2	1	AO1301
【教養】国際政治学		2	1	AO1302
【教養】国際関係論		2	1	AO1303
【教養】平和学		2	1	AO1304
【教養】法学		2	1	AO1305
【教養】日本国憲法		2	1	AO1306
【教養】経済学		2	1	AO1307
【教養】統計学		2	1	AO1308
【教養】社会学		2	1	AO1309
【教養】教育学		2	1	AO1310
自然・人間・生命の理解				
【教養】哲学		2	1	AN1301
【教養】心理学		2	1	AN1302
【教養】数学		2	1	AN1303
【教養】物理学		2	1	AN1304
【教養】化学		2	1	AN1305
【教養】地学		2	1	AN1306
【教養】生物学		2	1	AN1307
【教養】環境学		2	1	AN1308
【教養】スポーツ健康科学		2	1	AN1309
【教養】スポーツ初級a		1	1	AN1310
【教養】スポーツ初級b		1	1	AN1311
【教養】スポーツ中級a		1	2	AN2301
【教養】スポーツ中級b		1	2	AN2302
地域の理解				
まちづくり学		2	1	AR1301
まちづくり演習		2	1	AR1302
上級まちづくり演習		2	2	AR2301
教職				
教職論		2	1	AQ1301
教育原理		2	1	AQ1302
教育心理学概論1		2	1	AQ1303
教育心理学概論2		2	1	AQ1304
教育制度論		2	1	AQ1305
特別活動論		2	2	AQ2301
教育とICT活用		2	2	AQ2302
道徳教育論		2	2	AQ2303
生徒・進路指導論		2	2	AQ2304
教育相談		2	2	AQ2305

商学科　専門科目

	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学科基礎科目	商業概論	2		1	CS1101
	マーケティング概論	2		1	CS1102
	経営学総論1	2		1	CS1103
	経営学総論2	2		1	CS1104
	ファイナンス基礎論	2		1	CS1105
	簿記入門	2		1	CS1106
	会計学入門	2		1	CS1107
	ミクロ経済学	2		1	CS1108
	マクロ経済学	2		1	CS1109
学科専門科目	流通・マーケティング分野				
	マーケティング		2	2	CS2301
	流通システム		2	2	CS2302
	小売経営論		2	2	CS2303
	国際流通論		2	2	CS2304
	流通政策論		2	3	CS3301
	ロジスティクス		2	2	CS2305
	消費者行動論		2	2	CS2306
	マーケティングリサーチ		2	2	CS2307
	コピーライティング		2	3	CS3302
	サービスマネジメント		2	2	CS2308
	サービスマーケティング		2	3	CS3303
	サービスデザイン		2	3	CS3304
	経営・ファイナンス分野				
	経営戦略論		2	2	CS2309
	経営管理論		2	2	CS2310
	経営組織論		2	3	CS3305
	人的資源管理論		2	3	CS3306
	アントレプレナーシップ		2	3	CS3307
	企業法		2	2	CS2311
	経営分析		2	3	CS3308
	金融基礎論		2	2	CS2312
	金融システム論		2	2	CS2313
	外国為替論		2	3	CS3309
	国際金融論		2	3	CS3310
	コーポレート・ファイナンス		2	2	CS2314
	証券市場論		2	2	CS2315
	ベンチャーファイナンス		2	3	CS3311
	簿記・会計分野				
	簿記初級		2	1	CS1301
	簿記中級		2	2	CS2316
	簿記上級		2	2	CS2317
	会計監査論		2	3	CS3312
	原価計算論		2	2	CS2318
	工業簿記1		2	2	CS2319
	工業簿記2		2	2	CS2320
	管理会計論		2	3	CS3313
	財務会計論		2	2	CS2321
	財務諸表論初級		2	2	CS2322
	財務諸表論中級		2	2	CS2323
	債務諸表論上級		2	3	CS3314
	国際会計論		2	3	CS3315
	簿記論初級		2	2	CS2324
	簿記論中級		2	2	CS2325
	簿記論上級		2	3	CS3316
	所得税法		2	3	CS3317
	法人税法		2	3	CS3318

	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学科専門科目	スポーツマネジメント分野				
	スポーツ社会学		2	2	CS2326
	スポーツ経営論		2	2	CS2327
	スポーツ経営管理学		2	2	CS2328
	スポーツ・マーケティング		2	2	CS2329
	スポーツ・マネジメント演習		2	2	CS2330
	プロスポーツ論		2	3	CS3319
	生涯スポーツ論		2	3	CS3320
	スポーツ産業論		2	3	CS3321
	地域スポーツ論		2	3	CS3322
	スポーツ戦術・戦略		2	2	CS2331
	スポーツ情報分析		2	2	CS2332
	スポーツ心理学		2	2	CS2333
	トレーニング科学		2	2	CS2334
	トレーニング演習		2	2	CS2335
	スポーツ・コーチング学		2	3	CS3323
	ゼミナール				
	アカデミックリテラシー		2	1	CS1302
	専門演習入門		2	1	CS1303
	専門演習（2年）	4		2	CS2101
	専門演習（3年）	4		3	CS3101
	専門演習（4年）	8		4	CS4101
学科関連科目	キャリア・資格支援				
	能力開発1		2	1	CS1304
	能力開発2		2	1	CS1305
	能力開発3		2	1	CS1306
	キャリア講座1		2	2	CS2336
	キャリア講座2		2	2	CS2337
	商業経営講座基礎1		2	1	CS1307
	商業経営講座基礎2		2	1	CS1308
	商業経営講座上級1		2	1	CS1309
	商業経営講座上級2		2	1	CS1310
	簿記会計講座基礎1		2	1	CS1311
	簿記会計講座基礎2		2	1	CS1312
	簿記会計講座上級1		2	1	CS1313
	簿記会計講座上級2		2	1	CS1314
	データ処理技法		2	2	CS2338
	職業指導		2	2	CS2339
	語学・海外留学				
	ビジネス英語1		2	2	CS2340
	ビジネス英語2		2	2	CS2341
	Reading & Writing Skills		2	2	CS2342
	海外事情1		2	1	CS1315
	海外事情2		2	1	CS1316
	海外事情3		2	1	CS1317
	海外事情4		2	1	CS1318
	海外研修1		4	1	CS1319
	海外研修2		4	1	CS1320
	海外研修3		4	1	CS1321
	海外研修4		4	1	CS1322